

ケース1: 破碎ごみの焼却処分
① 破碎ごみ



大畑センターへ移送

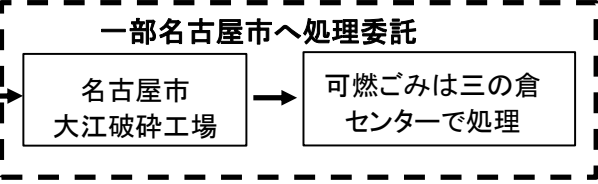
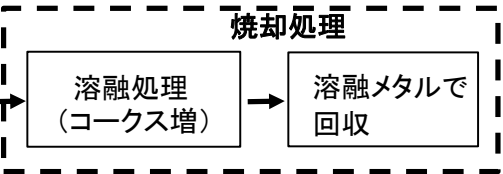
（破碎ごみ600kgを約7分で磁石によって仕分けする）

重機による仕分け作業
人力による仕分け分解作業

金属のみは、大畑センターで保管。
可燃ごみ付着部分は、三の倉センターで処理。（一部は名古屋市へ）

可燃ごみ
金属部分

三の倉センター
大畑センターで保管



の及プ
分びラ
解ゴス
作ムチ
業部ッ
分ク

金属部分
可燃ごみ

大畑センターで保管
三の倉センターで処理

バッテリー製品
(リチウムイオン等)

廃乾電池
引取業者

② 飲料缶



重機で選別及び圧縮作業

ヤード内で手選別作業

アルミ缶

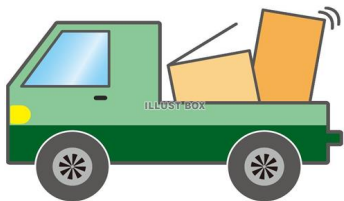
重機で積込をして搬出

スチール缶

その他金属として搬出

*将来的には、自動缶選別圧縮機の導入については引き続き検討する。

③ 自転車



手選別作業

状態の良い自転車

有償で引取可能

状態の悪い自転車

分解・解体作業

金属部分
可燃部分

大畑センターで保管
三の倉センターで処理

分解・解体作業が困難なものについては、名古屋市に処理委託する。